

第 85 号 地域開発みちの会

# みちの会 だより

<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 近藤 由美子

平成27年度年間活動テーマ  
「男女共同参画～今そして未来へ～」

## 平成 28 年度 総会・第 1 回全体会のお知らせ

日 時：平成 28 年 4 月 23 日（土） 総 会 10：00～  
第 1 回全体会 13：00～  
場 所：東浦町文化センター 1 階 ホール

平成 27 年度 事業報告・決算報告  
平成 28 年度 新会員・新運営委員紹介  
平成 28 年度 事業計画（案）・予算（案）

### ■第 3 回全体会

平成 28 年 1 月 21 日、エスペランス丸山（阿久比町）多目的ホールで開催されました。

東海市の酒井敦子さんによる平成 26 年度男女共同参画人材育成セミナーでの研究レポート「男性からみた男女共同参画に対する考え方」についての発表が行われました。その後、プロジェクト活動について報告を受けました。それぞれのプロジェクトが充実した活動をしていることがよくわかりました。

#### 【議題】

##### ◆フォーラム関連

1. フォーラム タイムスケジュールと役割について
2. 当日発表するパワポを見て
3. 当日のパンフレットについて

##### ◆その他

- ・2 月 5 日の全体会
- ・会計より報告



### ■第 4 回全体会

平成 28 年 2 月 5 日、東海市の「懐仙」で開催されました。

#### 【議題】

1. フォーラムのふりかえり
  - ・アンケート結果集計
  - ・課題点
2. 会の運営上の課題と運営方法
3. その他
  - ・新運営委員・新入(予定)会員の紹介



### ■新年会

全体会のあとは、美味しいお料理に舌鼓。おなかも心も満たされ、会話ははずみ楽しい新年会になりました。



## 第28回 地域開発みちの会フォーラム

# 「仕事も育児も面白い、ハッピーバランスを見つけよう！」 ～働き方から、社会も変わる～

平成 28 年 1 月 31 日、半田市福祉文化会館（雁宿ホール）講堂にて NPO 法人ファザーリングジャパン代表理事の安藤哲也氏をお招きしフォーラムを開催しました。

講演は、「子育ては期間限定のかけがえのないもの」で、子育てに関わることは自分もハッピー、子どもも大人もみんながハッピーになるという前向きに何かしなくてはという気持ちにさせてくれました。「父親であることを楽しもう！」と活動されていることが言葉や体中からあふれ、安藤ワールドに引きずり込まれていた気がします。

以下に講演の概要をまとめました。

### タイムスケジュール

13:30 開会 あいさつ

・近藤会長のあいさつ

・半田市副市長

藤本哲史 様あいさつ

13:40 活動報告

14:00 講演（～15:30）

### 講演概要

QOL、人生の質をどう高めるか、それが今、問われている。10年間の活動で男性でも育児参加できることを証明してきた。そして男性は仕事だけでなく地域での居場所やネットワークを作るべきだと思う。

子どもが少なくなっているのだから、子どもを社会で通用する人材に育てていくこと、若者を育てるのが今後の次世代育成。育児は、期間限定のプロジェクトで、能力開発の機会。何をこの子が求めているのか。子育てをしていると聞く力、伝える力、想像する力などが必要となる。これは全部仕事で言えば営業の力。職場では、こんなに忙しいのに、「育児休暇を取るのか！」と言われるが、子育ては休暇ではない。もっと疲れて大変なのが育児。育児は仕事と違い、段取り通りにはいかない。ハプニングやアクシデントをいつもママたちは体験している。男性もやってみて初めて気づき、判る。意識は体験からしか変わらない。期間限定なんだからやってみるといい。決してマイナスではない、プラスになる。週末だけケアするお父さんが増えたが、赤ちゃんは週 1 回ではなく、毎日寝るもの。まだまだ育休を取る父親は少ないが、世の中が変わってきている。

ハッピーバランスのイメージは寄せ鍋。育児、仕事だけでなく具材としていろいろなことがある。天秤にしようと思うと苦む。逃げることなくやったほうがいろんな相乗効果がでてくる。それらをグルグル回してブレンドしていると、深みを増して味が深まる。寄せ鍋には定年がなく、死ぬまで行ける。仕事だけだと定年で終わり。介護はいつ始まっていつ終わるかわからない。育児だけだと、子どもが独立すれば終わり。人生の喜びは「生きている」と実感することで、重要なことは他者と出会ったとき。その出会いが喜び。

ぼくは、幼いころから精神的DVを受けていた。母親が皿を泣きながら洗っている声を何十年も聞いていたので、優しい夫、父親になろうと決めていた。しかし、たまに切れると、昔オヤジが言っていたことを自分が言っていることに気づく。「やめてくれ」と思う。ファザーリングジャパンはそのときに思いついた。自分が嫌な思いをしたことを子どもたちには感じさせないように。育児を通して世界を変え、人生を楽しむ。仕事も育児も笑っているパパになろう。

昔の人はいいことを言っている。『乳児の肌を離さない。幼児の手を離さない。学童の目を離さない。思春期の心を離さない。』子どもの人生は子どものもの。親の思い通りにはならない。家族が一緒に笑って過ごす時間、それがとても大事。いつかなくなるけど、一時暮らせてよかったなあと思えると思う。妻とは戦友。妻と二人で乗り越えたから今、一緒にお酒を飲みながら笑っていられる。「こんなこともあったよね」と。

～安藤哲也さんの講演をお聴きして～

「仕事と育児の両立」は、これまで、私たち女性の問題でした。結婚や出産で、女性が仕事を辞めざるを得なかったり、仕方なく働き方を変えたりしました。今、子育てに積極的に関わりたい、仕事も手を抜きたくないと考える「新しいパパ」が増えています。そして彼らが「仕事と育児の両立」で悩んでいます。安藤さんのように相談のってくれるパパ友がいれば、仕事も育児も楽しもうという気になるかと思いました。



安藤さんたちの活動を知ったのは、イクボスプロジェクトからでした。日本中のパパが育児に参加できる環境を作る活動をされています。父親が変わると社会も変わると期待しています。育児をしたいが、「できない」と言われると、あるお父さんからお聞きしてファザーリングジャパンを紹介したことがあります。今日は、実際のお話を聞いて、家に帰っても思い出しながら夫に話しをしたいと思います。パパがママのニーズを聞いて、仕事も育児も面白い、ハッピーバランスを見つけましょう。

(山本幸子)



《活動報告》

東海市・酒井敦子さんによる平成 26 年度男女共同参画人材育成セミナーでの研究レポート発表

### 「男性からみた男女共同参画に対する考え方」

男性がどう思い、どう感じているか。男性の本心を考えることで問題点を見つけ出すことができないか考えてみた。

男女共同参画の意識調査をセミナーのグループで行った。「男性側から見た、男女共同参画について」質問したところ「男女共同参画」という言葉を、女性が社会に出て働くこと及び女性が管理職に就くという意味にとっている場合が多いことが分かった。個々の家庭のスタイルに合わせた男女共同参画にしていけばいいのでは。という意見も多く寄せられた。意識調査では、人それぞれの捉え方があるものの、「男女共同参画社会づくり」に関しては殆どの男性が必要だと回答している。しかしながら、労働時間や社会や周りの環境によってなかなか実践が伴っていかないというジレンマをかかえていることも理解できた。多くの人は男性が意識改革をしないから、なかなか男女共同参画が進まないのだと思いがちであるが、男性だけでなく女性側も今いちど現状を見つめ直す必要があるのではないだろうか。



男性の心理面やジェンダー関連の文献を紹介する。

- ・柏木恵子・高橋恵子(2008)日本の男性の心理学—もう1つのジェンダー問題 有斐閣
- ・伊藤公雄(1993)男らしさのゆくえ 新曜社
- ・三浦清一郎(2009)「変わってしまった女」と「変わりたくない男」男女共同参画ノート 学文社
- ・石蔵文信(2014)なぜ妻は、夫のやることなすことに食わないのか 幻冬舎

## プロジェクト企画

### 「学習会」(東海市市民活動センター(ソラト)小会議室にて)

・2月16日、「戦後日本の公害・環境問題と女性の歴史的役割」について参加者で意見交換会を行った。戦後日本の公害の被害は女性に多く、運動の主力が女性であり、女性の歴史的役割を知ることができた。一年を通じて男女共同参画をテーマとして広い領域の学習をする機会を得ることができ、女性が多く分野に深く関与していることに気付かされた。



### 「まちのこと学び隊」 はじめての facebook 講座

・1月24日、美浜町、對雙鑑浦堂(たいそうかんぼどう)にて facebook 講座が行われました。レトロな建物の中で、パソコンを操作する参加者は、講師から丁寧に登録方法を教わり、プライベートな情報の流出を制限する知識を得ることができました。お互いに友達申請をしながらのやり取りは、楽しかったです。



## 支援現場から見た移住外国人の実情

・3月2日、東海市市民活動センター(ソラト)にてフィリピン人移住センター(FMC)代表の石原バージさんの講演会を実施しました。フィリピンの6人に1人が、海外200国あまりに出稼ぎに出ているという国の背景や石原さんのNGO「フィリピン人移住センター」を立ち上げるまでの経緯、そして在留資格を持たないので教育を受けられない子どもたち、フィリピンの女性が貧困・暴力にさらされている現実など、日本に住むフィリピン女性の状況を聞くことができました。男女共同参画基本計画には、「女性であること、その上外国人であることで複合的な困難にある外国人女性が安全安心に暮らせる環境を整備する」と書かれています。男女共同参画の視点に立ち、何ができるか参加者で考える会となりました。



## これからの行事のお知らせ

◆ウィルあいち交流ネットセミナー 「これからの若者！ ～ひとりぼっちにしない知恵～」	3/6(日) 13:30～15:30	講師:山田昌弘先生(中央大学教授) ウィルあいち3階 大会議室 参加費:500円
◆美浜町男女共同参画推進事業 ⇒問合せ:石垣由貴子	3/23(水) 14:00～16:30	映画「厨房男子(ちゅうぼうだんし)」上映 監督トーク 参加費無料(美浜町保健センター3階)
■平成28年度 総会・第1回 全体会	4/23(土)	東浦文化センター 1階 ホール 総会 10時～・全体会 13時～

— 編集後記 —

12月の暖冬気分が、吹き飛ばすような寒さが続きました。しかし、春はそこまで来ています。年4回発行した「みちの会」便りも最終号です。4月に「議員と語る会」について議論を交わしましたが終わってみれば、これまでに「議員とつながった」一年であった気がします。みなさまご協力ありがとうございました。

ご意見・問い合わせは メールにてお寄せください。 (85号:編集委員 石垣)

地域開発みちの会 <http://www.aichi.michinokai.cc/toiawase.html>